



# 月出小だより

令和5年5月17日

第2号

文責 校長 酒井 志郎

## 授業参観お世話になりました。

5月10日に授業参観を実施しました。1年生から3年生までは5時間目の授業、4年生から6年生までは6時間目の授業を参観していただきました。多くの保護者に授業の様子を見ていただき、児童も喜んでいました。私も授業の様子を見ていますが、日頃から児童が勉強を励み、日々興味・関心を持って授業に取り組む姿に成長を感じます。今後も授業参観なども計画していますので、是非子供さんの学校での様子を見てもらえればと思います。

## 挨拶ができる人になってほしい。

私が正門に立って、ほぼ毎日、児童の皆さんに挨拶をしています。多くの児童は挨拶をしっかり返すことができ、うれしく思っていますし、児童から元気をもらうことができます。特に一部の児童は、私の前に立ち、「おはようございます」とお辞儀をして挨拶をしてくれます。ただ一部の児童は、恥ずかしいのか、小さな声で挨拶したり、ポケットに手を入れて挨拶したり、まったく挨拶を返してくれない児童もいます。また地域の方々からも、大きな挨拶をしてくれてうれしかったという意見と、挨拶をしたけど返してくれなかったので、悲しかったという意見が出ています。学校としては、「いつでも、どこでも、だれにでも」挨拶できる人になって家庭や地域、学校を明るくしてほしいと思っています。また挨拶は児童一人一人の人生の中でコミュニケーションの手段として必ず必要になってきます。これから是非、立派な挨拶ができるようにがんばってほしいと思います。今の月出小学校の児童ならできると思います。学校でも挨拶については、継続して指導をしていきますので、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。

## 新型コロナウイルスの規制の緩和後について

5月8日より新型コロナウイルスが、インフルエンザと同じ第5類に指定されました。この3年間、教育においても様々な制限があり、不自由な思いをしていたと思います。今後は新型コロナウイルス感染拡大前の状況に少しずつ戻していこうと考えています。ただこの機会に児童にとって本当に必要な行事、必要ではない行事などを検討しながら効果的な学校教育を進めていきたいと思っております。またマスクの着用につきましては、各家庭の判断となっておりますので各家庭の状況に応じた対応をしていただければと思います。またマスクの着用や非着用による偏見、差別やいじめなどに対しては学校として毅然とした態度で臨んでいきます。ご理解とご協力をお願いいたします。また何かありましたら、学校にご相談ください。